



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 103 号



第 33 回鋸南町農業祭

は
や
わ
か
り

12 月定例議会

ひとり親家庭医療費等助成拡大

2 ページ

補正予算

水道管敷設場所は安全か

3 ページ

一般質問

三国・渡邊・小藤田・緒方の 4 議員

4~7 ページ

裏表紙

鋸南病院に新型 MRI

8 ページ

12月議会

ひとり親家庭 医療費等助成拡大

12月定例議会は、会期を11日から14日までの4日間として開催した。議案は、議員発議案1件、補正予算3件の他、行政財産の使用料条例の一部改正やひとり親家庭医療費等の助成に関する条例の一部改正など、合わせて9件の議案が提出された。また、一般質問は三国・渡邊・小藤田・緒方の4議員が質問席に立った。

虐待等防止ネットワークの組織形態は

鋸南町では、千葉県が実施をしている「ひとり親家庭等医療費等の助成事業」を受け、ひとり親とその児童、あるいは両親のいない児童等の医療費の自己負担分について助成を行っている。

平成24年8月より、千葉県が「DV防止法に基づいて被害者が保護命令を申し立て、現に裁判所から保護命令が発せられた者」を助成対象に加える条例改正を行ったことから、鋸南町においても県の方針に準じ、助成対象の拡大を行った。

使用料条例の一部改正

使用料条例の規定にかかわらず、入札の結果により定めた額の使用料を徴収できるように条例の一部改正を行った。

選挙費用に係る

専決処分を承認

11月16日に衆議院が解散したことにより、選挙執行にかかる補正予算762万8千円を12月19日付で専決処分したものを、全員賛成で承認した。

なお、衆議院議員選挙は12月16日に執行された。

人権擁護委員候補者推薦

現人権擁護委員の村上博幸氏の任期が平成25年3月31日に満了となることから、引き続き人権擁護委員候補者として、法務大臣に推薦することと同意した。任期は、法務大臣の委嘱状交付の日から3年間となる。

※ひとり親家庭等 医療費助成制度とは

母子家庭・父子家庭等の経済的負担と精神的不安を軽減し、自立を促進するための医療費等（医科・歯科の入院、通院治療費、調剤費）を助成する制度。





修繕を予定している浄水場混和池攪拌機



水道管が埋設されている町道 1-106 号線（横根地区）

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ 9,382 万 4 千円を追加し、総額が 40 億 9,863 万 8 千円となりました。

主な歳入は、普通交付税 1 億 7,168 万 2 千円、国庫補助金 590 万 7 千円、県税取扱費交付金 39 万 8 千円の増額及び財政調整基金繰入金 8,217 万 2 千円の減額など。

主な歳出は、道の駅物産センター保証料還付金 125 万円、光熱水費 408 万 7 千円、財政調整基金へ 8,671 万 2 千円の積立の増額など。

国民健康保険会計補正予算

歳入歳出それぞれ 1,564 万 2 千円を追加し、総額が 12 億 6,914 万 2 千円となりました。

主な歳入は、療養給付費等交付金 1,478 万 8 千円、財政調整交付金 85 万円の増額など。

主な歳出は、退職被保険者等療養給付金 1,079 万 7 千円、退職被保険者等高額療養費 399 万 1 千円、疾病予防費 85 万円の増額など。

水道会計補正予算

収益的収入では、一般会計繰入金 9 万 2 千円を追加し、4 億 4,795 万 5 千円となりました。

歳出では、63 万 2 千円を追加し、4 億 4,557 万 2 千円となり、主な歳入は、職員給与費の減額 94 万 6 千円や浄水施設の攪拌機修繕料 157 万 8 千円の増額など。

水道管敷設場所は安全か

主な質疑

質問 虐待等防止ネットワーク協議会の組織形態と活動内容は、

安房健康福祉センター、君津児童相談所、鋸南町社会福祉協議会、民生児童委員協議会、教育委員会、人権擁護委員等の代表者で組織されている団体であり、関係機関が連携し虐待等の防

止を図ることを目的としています。

質問 物産センターの保証金に関する資金の流れは、地域振興課長 以前は雑入で取り扱っていましたが、22年度から、歳計外現金で

取り扱っています。

質問 町道 1-106 号線の地すべり箇所の水道管の敷設場所は道のどこのあたりか。また、地すべりの影響はないのか。

水道課長 道路の西側に、町の水道管、その隣に南房総広域水道企業団の送水管が並行して敷設されています。また、管については、地盤の変動に対して強いものを使用しています。

ここがききたい いっぱい

質問

横根地先の町道の復旧を

温泉掘削に向けての検討は



三国 幸次 議員

の市街地近くへの出没が増えているが、人への被害も懸念される。出没情報の収集に力を入れる必要があると思うが。

質問 横根地先の町道1-106号線は、昨年、仮に補修し片側通行で使用していたが、また路面の状況が悪くなった。対応は。

町長 年内を目途に、仮復旧工事の施工を考えています。

質問 片側交互通行の復旧を考えているのか、あるいは交互通行できるような形の復旧を考えているのか
地域振興課長 交互通行できる状況に復旧する考えです。

質問 イノシシなど有害獣

町長 有害獣の移動範囲を特定するには、地域からの

出没情報を積極的に取り入れ、行動を把握することが重要で、今後の対策事業に活用できるものと考えます。

質問 温泉掘削について、7月に老人センターの付近の電気探査を行ったが、良い結果ではなかった。再度範囲を広げて調査をしたかどうか求めているが、検討した内容は。

町長 今後は掘削深度によつて対応すべきか、あるいは、より確実な成分確保を優先とした考え方で臨むべ

きか、もうしばらく時間をいただいで、掘削適地を再検討します。いずれにしても、温泉成分の表示が可能なら正規の温泉掘削申請に向け、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

質問 前向きに取り組んでいきたいという答弁だが、

調査範囲を広げるのか、あるいは掘削に重点を置いて検討していくのか。

町長 掘削を重点に調査をしていきたいと考えています。



町道1-106号線（工事前）

海岸線の

松くい虫対策を早急に

道路整備予算の増額と工夫を



薬剤注入をした松

町長 町内在住の経験豊富な臨時職員の採用は難しい部分もあります。今後は原材料支給により実施できる地域があれば、地域と一体となって施工したいと考え

質問 区長から要望の多い（未処理125件）道路工事等の内訳及び工事費はどのくらいか。
地域振興課長 側溝の補修

質問 原材料の支給により工事を要望する地域も多いが、町には現場や重機に精通した職員がいないので、現場に明るい臨時職員の採用により、町民の要望に応える方が、効率かつ効果的だと思うが。

と道路の再舗装が大半であり、工事費は概算で2億2千万円程度です。

ます。

要望 次年度予算については工事費を増額するとの説明があつたが、臨時職員の採用も含め、少しでも地元

の要望に応えられるようにしてほしい。

質問 当町の海岸線の松は防風林・防砂林の機能は勿論、観光の一翼も担っています。



渡邊 信廣 議員

る。だが町の財産ともいえる松が、松くい虫により枯れてしまうのは残念でならない。町の対策は。

地域振興課長 保安林に対する伐倒処理を県に要望しており、民地については伐倒処理の指導等を行っています。

質問 町として、対応が弱いと思うがどうか。

副町長 今後、町としても慎重に検討を重ね対応していきたいと考えています。

質問 県が伐倒破碎処理区域に指定した保安林に対し、地上散布・伐倒駆除を実施しているとのことだが、ど

の区域か。

地域振興課長 竜島町営住宅周辺・大六橋周辺・真珠島及び元名海岸の保安林の松が指定区域です。

要望 答弁のあつた区域と鱧ヶ浦の松は保存松として保全に努めてほしい。

質問 当町には、樹齢百年以上の松が多いことから、効果的と言われている薬剤の樹幹注入について、来年度予算の増額はできないのか。

副町長 樹幹注入は現在も何本か行っていますが、来年度の予算措置を検討します。



小藤田 一幸 議員

東京ドーム1.2倍の量（147万³m³）と、高さ32mの汚染土を埋める施設が鋸南

汚染土壌埋立て工事

開発により計画されている。ついでには、4つの場所に行き調査を行った。

①業者は「外環道から出る自然由来の汚染土を持って来る」と言っているが、松

戸にある国交省の工事現場で聞くと、鋸南町に土を運ぶ計画は全くなかった。

②汚染土を不溶化する市川工場の受入基準は、関東近隣から濃度上限なしの汚染土壌（ヒ素・フッ素・鉛など）を受け入れるとしている。吉浜港から施設に運ぶだけの業者が自然由来の汚染土だけを不溶化して運ぶといっても不可能である。

③東京にある不溶化処理施設で不溶化剤と単価を調べた結果、全部埋めるのに66

億円かけるといふ。採算がとれるか。

④業者は平成21年、県知事あてに掘り下げ採掘を申請し、「採取完了後は森林に復旧する。有害物質を搬入しない」ことを誓約している。県に行き、汚染土を埋めるといふ契約違反をなぜ認めたか問いただと、水質保全課と保安課との責任のなすりあいであった。

質問 現在、鋸南開発の事前協議に係る手続きは、どこまで進んでいるか。

町長 県の指導事項に対する調整は、業者と県担当部署が直接行っており、現在調整中です。

質問 汚染土の搬入先や飛散防止策、将来にわたっての水質測定や不測の事態が生じた場合の対応策など、町行政の責任者としてどう考えているか。

町長 許可権者である県が責任を負うことを明確にしてほしい旨を、県に意見書の回答として提出しています。

質問 業者は埋立て後、サッカー場を造り、町に無償で貸し出すと言っているが、町としての考えは。

副町長 町としては、今の段階で受け入れるという考えはありません。



山側から見た計画地



緒方 猛 議員

石綿水道管改修計画は人口減対策は妥当か

質問 石綿水道管（耐用年数25年が既に50年以上使用）の改修実績は、年間200〜500mに過ぎない。保田神社裏から権現橋間（

約250m）も未だ石綿水道管で度々亀裂・断水し、約80世帯に影響が出ている。石綿管はどれ程残っているのか。また、当該箇所

の改修計画は、

町長 石綿管は、安価で施工が良いことから、昭和中期に多用されましたが、漏水防止等に対処するため

改修を進めており、現在14キロメートル程残っています。また、指摘の箇所は平成25年度に更新工事を予定しています。

質問 町の人口減は過去5年で8.5%減、この先10年でさらに20%減と推定している。首都圏の1都6県でこれほどの減を推定している自治体があるのか。先の答弁では、平成17年から15年

先の推計で本町は22・6%減で県下最大。首都圏下31の特別区と自治体中ワースト10番目となり、明らかに突出している。また現在の小学2・3年生は8年前と比較すると約50%減、安房3市は10〜20%減程度。人口増減はその自治体経営の総合評価の本丸と思うかどうか。

町長 過疎化を抑制する方



破損した石綿管

町の支援を積極的に要望したいと考えます。

り組むとともに、
 光の中心と位置
 町の増加策に傾注
 ぶけ、交流人口
 してきました。
 しかし、現在安
 房地域では雇用
 問題が大きく取
 り上げられてい
 ます。今後は安
 房4首長で協力
 し、定住化促進
 に向け自らも取
 り組むとともに、

針としては、交流人口を増やし定住化促進につなげる考えです。具体的には保田小跡地の活用は、地域住民や商工業者から期待されており、現在コンサルタントと効果的な事業仮設を検討しています。

質問 人口減は喫緊且つ最大の問題で執行部と共有している。コンサルタントの過信は如何かと思う、彼らは責任は持ち得ない。定住

町長 県は南房総地域を観光の中心と位置づけ、交流人口の増加策に傾注してきました。しかし、現在安房地域では雇用問題が大きく取り上げられています。今後は安房4首長で協力し、定住化促進に向け自らも取り組みるとともに、町の支援を積極的に要望したいと考えます。

化につなげるのは簡単ではなく、富楽里ほどの施設でも効果は限定的。他市と交流し感じることは子育て・教育・住宅・商店街再生など独自で行っても、雇用創出が必須でこれは近隣市・業界・県と協力した取り組みが不可欠で、トップの政治・リーダーシップ力と、行政の意識・風土改革が必要と思うがどうか。

議会実況中継始まる

無料動画配信サービスを活用

鋸南町議会では、12月定例議会から、千葉県町村議会では初めてとなる本会議のインターネット中継を開始し、多くの方にご視聴いただきました。

仕事や子育てなどで忙しい議会の傍聴に來られなかった方も、今回の議会中継の実施により、今後は自宅のパソコンで議会の審議状況をリアルタイムで視聴することが出来ます。

なお、中継費用については「ユーストリーム」で行っている無料の動画配信サービスを活用し、経費の削減を図っています。

視聴方法については、鋸南町ホームページにてお知らせしていますので、是非ご覧ください。

医療はその地域の文化

鋸南病院に新型MRI

鋸南病院は、わが町にとどまらず内房地域の中核医療機関としての役割を担っています。

平成20年度から「医療財団法人鋸南きさらぎ会」が指定管理者として運営しており、25年度以降も引き続き同財団が運営することになりました。

いままで鋸南病院のMRIは、整形外科疾患や脳神経疾患などの診断に活用されてきましたが、より精度の高い機種が求められていることから、機器の更新について昨年9月議会で事業費約7千万円が計上され、可決されました。

日程的には、本年1月中旬にMRI室の改修を行い、機器の搬入・調整を経て3月上旬の完成を目途に進められています。新しいMRI

Iは永久磁石型で画像処理速度、検査時間の短縮など、従来の機種より高い性能を有しています。

なお、MRIは任意の断面を、どの方向からも投影

し断層の撮影をすることが可能です。新機種への更新で、より充実した医療サービスが受けられるようになります。



新型のMRI（磁気共鳴画像装置）

議会の日誌

11月22日（木）議員全員協議会

11月29日（木）議会運営委員会

12月4日（火）議員総会

12月11日（火）～12月14日（金）

第5回議会定例会

1月9日（水）議会広報特別委員会

編集後記

我が町では、成人式が1月13日に中央公民館において盛大に行われました。

今年の新成人は、昨年より19人多い102人でした。皆希望と自覚に溢れた素晴らしい成人式でした。

新成人が生まれた平成4年当時を振り返ってみると、バルセロナオリンピックに熱狂し、長寿国の証である金さん銀さんの流行語の時代でもありました。

また、町では統合中学校の造成工事が始まった年でもあり、懐かしく思います。時代と共に、人口が減少し、10年後の成人者は50人、20年後には30人ほどになることを考えると、少子高齢化社会とは言え、町をあげて何とかしたいものです。また、次代を担う子供達のためにも、環境の素晴らしき町にしていきたいものです。

渡邊